

膠芽腫患者の初期治療後の退院先の予測モデルの構築

1. 研究の対象

2017 年 1 月から 2020 年 12 月までの大阪国際がんセンター(旧大阪府立成人病センター)でテモゾロミド併用の放射線治療を受けた方

2. 研究目的・方法

膠芽腫患者は麻痺や高次脳機能障害など様々な神経症状を呈し、そのことから自宅退院が困難になる場合も多くあります。本研究は初期治療後の退院先（自宅、転院、施設退院など）を事前に予測するための予測モデルを構築することです。

2017 年 1 月から 2020 年 12 月までの大阪国際がんセンターでテモゾロミド併用の放射線治療を受けた患者さんを対象とし、主要アウトカムはテモゾロミド併用放射線治療後に自宅退院をされたかそれ以外（転院、施設入所等）とし、機械学習を用いて予測モデルを構築します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢、性別、腫瘍の位置、腫瘍の大きさ、身体機能、認知機能、退院先

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者： 橋田直 大阪国際がんセンター リハビリテーション科

住所：〒541-8567 大阪市中央区大手前3-1-69

電話：06-6945-1181

-----以上